

■林武 洋画家。デビュー後の長い雌伏期間を経て、〈敗戦〉後いきなり、画壇の寵児的存在となった。

はやしたけし

白馬会・・・1896＝ 東京麹町で、国語学者林甕臣の末子に生まれる。6人兄弟。祖父は歌人、曾祖父は水戸派の国学者。

日露戦争終・1905＝ 9歳：

伊藤博文暗殺1909＝13歳：牛込区余丁町小学校を卒業。

韓国併合・・・1910＝14歳：早稲田実業学校予科に入学するも、学費が払えず、実家の牛乳販売店で働きながら通学し、体調を崩して、中退。

明治天皇没・1912＝16歳：

大正政変・・・1913＝17歳：東京歯科医学校に入学するも、

第一次大戦始1914＝18歳：

中退。新聞や牛乳の配達、ペンキ絵を描くなどして、生計を立てるうち、

ロシア革命・1917＝21歳：_画家を志し、

大暴落・・・1920＝24歳：_日本美術学校に入学するも、

原敬首相暗殺1921＝25歳：*中退したが、第8回二科展に「婦人像」が初入選(樗牛賞)して画家としてデビュー。結婚し、

水平社結成・1922＝26歳：_妻をモデルに、「本を持てる婦人像」を制作。

関東大震災・1923＝27歳：万鉄五郎を中心とする円鳥会に加わる。震災で被災し、神戸に移住。

二科展ないし一九三〇年協会展にも出品。

共産党事件・1928＝32歳：「横たわれる女」を制作。

海軍軍縮条約1930＝34歳：「裸婦」。_二科会を脱退し、独立美術協会創立に参加、以後同会を主要な発表の場とする。

満州事変・・・1931＝35歳：

五一五事件・1932＝36歳：

_エミール・ベルナルの「回想のセザンヌ」(有島生馬訳)に感銘して、セザンヌに傾倒し、

帝人疑獄事件1934＝38歳：_ヨーロッパへ遊学し、マティスやドランの影響をうけて、「コワヒューズ」を制作、

芥川直木賞始1935＝39歳：_帰国。東京中野に移住。「裸婦」、

二二六事件・1936＝40歳：_第6回独立美術協会展で滞欧作15点を特別陳列。

日中戦争始・1937＝41歳：_松坂屋で滞欧展、

健保+総動員 1938＝42歳：「室戸岬風景」。

大政翼賛会・1940＝44歳：_皇紀2600年奉祝美術展覧会に、「肖像」を出品。

日米開戦・・・1941＝45歳：

・・・1942＝46歳：「静物」を制作。

年金+総武装 1944＝48歳：_持病の胃潰瘍が悪化、静養を兼ねて、西多摩郡網代村に疎開、

敗戦・・・1945＝49歳：

新憲法公布・1946＝50歳：_自宅に戻り、「うつむき女」を制作。

極東裁判決・1948＝52歳：「静物」を制作。坂上皇女をモデルにした連作を描き始める。

三大事件・・・1949＝53歳：_*「第3回美術団体連合展」に出品した「梳る女」「静物(鯖)」などに対して、第1回毎日美術賞をうけ、画壇の寵児的存在となる。

朝鮮戦争始・1950＝54歳：_読売新聞主催「現代美術自選代表十五人展」に2年前制作の「静物」を出品。連作「星女嬢」を制作。

独立回復・・・1951＝55歳：

メア-事件・1952＝56歳：_東京芸術大学教授に就任。

TV放送始・・・1953＝57歳：_風景に題材を求め、十和田に滞在し、連作「十和田湖」を生む。「横向き少女」を制作。

自衛隊発足・1954＝58歳：「斜面の顔」「ネッカチーフの少女」制作。

国連加盟・・・1956＝60歳：「卓上花」「月ヶ瀬」を制作。_「伏目の女」で日本美術展大衆賞。

なべ底不況・1957＝61歳：「赤衣の婦人」を制作。

五ヶ国条約・1858＝62歳：_日本橋高島屋で大回顧展。「熱海風景」を制作。

美智子妃・・・1959＝63歳：_芸術院賞。

安保闘争・・・1960＝64歳：_渡仏し、「薔薇」「ノートルダム」「エッフェル塔」などを制作。

タイタイ病始・1961＝65歳：_日本橋高島屋で滞欧作展。美術出版社より、集大成した画集が刊行される。

全国総合計画1962＝66歳：「立てる舞妓」などの舞妓の連作、

TV宇宙中継始1963＝67歳：_週刊誌の表紙のため、「少女」を制作。_東京芸術大学を定年退官。

東京オリンピック 1964＝68歳：_連作「富士山」を始める。再び、妻をモデルに「三味線」を制作。

大学紛争始・1965＝69歳：_自伝的芸術論の著書「美に生きる」出版。「薔薇」の連作始め、「花」を制作。

いざなぎ景気1966＝70歳：「滝富士」「海」「裸婦」。

美濃部都知事1967＝71歳：「赤富士」を制作。*第37回朝日賞、文化勲章を受ける。

震ヶ関ビル・1968＝72歳：_波打ち際の怒濤を題材にした連作も始める。週刊朝日の依頼で、銀座の街頭を描く。

全共闘ビ-ク・1969＝73歳：「ばら」「怒濤」「花帽子の女」。

大阪万博・・・1970＝74歳：_富士山連作の「朝霧富士」ほか。八百屋お七に扮した女優菊ひろ子を描く。

ドルショック・・・1971＝75歳：_国語問題協議会会長に就任し、正かなづかいの復権を訴える著書「国語の建設」を出版。

日中国交回復1972＝76歳：_講談社から刊行予定の画集のため、初めて「自画像」を描く。

石油ショック1973＝77歳：「少女」を制作。翌年にかけて、展覧会に旧作多数を出品。

クアランプール事件1975＝79歳：_*肝臓癌で、没した。病室で描いた「薔薇」が絶筆となる。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、